

萩・石見空港マラソン全国大会

第11回大会 平成30年（2018年）10月21日 （1）

平成30年（2018年）10月21日（日）、第11回萩・石見空港マラソン全国大会が盛大に開催され、全国各地から集結した2,048人のランナーが心地よい汗を流しました。

県立万葉公園をスタート・フィニッシュ地点としてハーフマラソンと10kmのコースが設定され、いずれも空港滑走路を走ることができます。ランナーは、澄み切った秋晴れのもと、壮大な滑走路を駆け抜けました。

秋晴れの下、萩・石見空港の滑走路を疾走するランナー



秋晴れの滑走路 疾走

普段は立ち入ることができない2千以上の滑走路を疾走できるのが魅力で、空港の知名度を高めようと開き、今年が11回目。ベトナムや、北海道から沖縄県までの34都道府県からエントリーしたランナーが、同市のスポーツインストラクター高津町の県立万葉公園をスタートとするハーフマラソンと10kmの部で健脚を競った。

2004年アテネ五輪の男子マラソンで5位入賞した中国電力陸上部の油谷 アドバイザー(41)、全国

益田

空港マラソン 2000人参加

空港の滑走路を走る「萩・石見空港マラソン」全国大会（益田市、同市教育委員会、同市体育協会主催）が21日、益田市内田町の空港周辺のコースで行われた。国内外から参加した約2千人が、秋晴れのすがすがしい天気の下で、空港や海岸を駆け抜けた。

（白瀬弘浩）



萩・石見空港マラソン全国大会

第11回大会 平成30年（2018年）10月21日 （2）



2,048人のランナーが激走！

第11回



萩・石見空港マラソン全国大会

10月21日(日)、第11回萩・石見空港マラソン全国大会が盛大に開催され、全国各地から集結した2,048人のランナーが心地よい汗を流しました。

県立万葉公園をスタート・フィニッシュ地点としてハーフマラソンと10kmのコースが設定され、いずれも空港滑走路を走ることができます。

ランナーは、澄み切った秋晴れのもと、壮大な滑走路を駆け抜けました。

今年もみんなに会えて
うれしかったビュン！



スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

萩・石見空港マラソン全国大会

第11回大会 平成30年（2018年）10月21日 （3）



笑顔でゴール！やったね！

ゲストランナーの油谷繁さんと湯田友美さん

～ご協力ありがとうございました～

大会が無事成功するよう支えてくださったサポートスタッフの皆さん、温かい声援を送って応援して下さった沿道の皆さん、本大会の運営にあたり、たくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。

